



都営住宅と隣接した西永山福祉施設。手前の茶色の建物が「こもれび」

2019年11月 永山にオープン！ 「あい小規模多機能施設こもれび」

社会医療法人河北医療財団多摩事業部は、2019年11月（予定）に多摩市永山に「あい小規模多機能施設こもれび」を開設いたします。

当財団としては、「あい小規模多機能施設かりん」（多摩市聖ヶ丘）、「あい小規模多機能施設ほたる」（多摩市中沢）、「あい小規模多機能施設おきな（サテライト）」（多摩市関戸）に続く4つめの小規模多機能型居宅介護サービスであり、永山地区では初めての介護施設となります。

瓜生緑地に近接した緑豊かな地で、地域のみなさまに必要とされる施設をめざし、多摩ニュータウンの地域包括ケア推進の一助となりますよう職員一同邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

【住所】東京都多摩市永山 3-12-1 多摩市西永山福祉施設

お問い合わせ 080-4441-1355 こもれび開設準備室



✓ 「小規模多機能施設」とは？

「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービスを提供する「小規模多機能型居宅介護」のことです。介護保険が適用される地域密着型サービスで、多摩市にお住まいで要支援～要介護認定された方がご利用できます。詳しいサービス内容については上記の準備室までお問い合わせください。ホームページでもご覧いただけます。

講座のお知らせ

10/19 (土)

14:00 ~ 15:30

小規模多機能サービスの
紹介と現地見学会を開催

【お申込み】

042-310-0323(多摩広報課)

最新情報は
ホームページで



私の元気の素

～気になるあの人にインタビュー～



芳川道子さん (76)

多摩市豊ヶ丘在住。

1987年に天本病院に入職。元天本病院看護部長。健康のために毎朝3.8km歩くのが日課。ストレスをためない秘訣は、お友達とおしゃべり。



趣味はトールペイント。いただいた作品があいクリニックに飾ってあります

病気をしたから学べたこともあった。

100歳といわず、もっと長生きしたいわね

2017年にあいセーフティネットの元職員たちにより結成された『同想会』。その名づけ親でもある芳川さんは、当時貝取にあった天本病院で開設初期から19年間にわたり看護師をされていました。「結婚して看護師を辞めblankがあったので、最初は老人病院なら大丈夫かな、くらいの気持ちで入職したんです。ところが天本先生の高齢者医療に対する考え方や目指す姿勢にすっかり心を打たれてしまって、気がついたら仕事にのめりこんでいました。先生は常に時代の先を読み10年先まで見据えて行動されていました。私はその背中についていくのが精いっぱい、後からその意図に気がつくことも多かったですね。退職した今も、そんな天本先生への想いは変わることがなくて、他の卒業生たちも同じ気持ちで集まっているのではないのでしょうか。その想いが続き、天本病院の理念がこれからもずっと伝わっていくようにとの願いを込めて、『同想会』と名付けたんです」

最近まで、あい小規模多機能施設ほたるにご夫婦でボランティアに来てくださるなど、毎日をアクティブに過ごされている芳川さんですが、2年ほど前には心臓の大病を患いバイパス手術を受けられました。「病気をしたからこそ見えてくるものがあって勉強になりました。今後、何に気をつけるべきか、どんな生活を送ったらよいのか。看護師だから頭ではわかっているつもりだったけれど、体験しないとね。健康の源は、食事、睡眠、運動。人は本来、100歳以上生きられるんです。子や孫たちのためにも元気で長生きして、色々なことをしてあげたいと思っています。寿命が尽きるまで、精一杯生きたいですね」



7/30(火)にあいクリニックで開催されたフレイル予防の無料測定会。InBodyという分析装置を用いて筋肉量や水分量を測定しました



あいセーフティネットに所属するリハビリ職が地域のみなさまの介護予防のお手伝いをいたします。体力測定会の開催や、地域の体操教室への講師派遣などを行っています。お気軽にメールでお問い合わせください。

スペシャリストがあなたの健康をサポート

あいセーフティネットかわら版

リハビリ職とは？

国家資格を持つ医学的リハビリテーションの専門職。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3職種が病院や介護施設などで活躍しています。

【お問い合わせ】

あいセーフティネットリハビリテーションセンター
asnrehacenter@kawakita.or.jp